

福岡県地球温暖化防止活動推進センターと連携してワークショップを開催しました。

ワークショップ概要

目的 地域の実情に応じた対策を推進するため、身の回りで起こっている気候変動影響の調査を行う。

内容 県民を対象としたワークショップを開催する。

対象・参加人数 福岡県の地球温暖化防止活動推進員 22名

**実施場所
(対面開催)** TKPガーデンシティ博多 5階 九重 (全)
(福岡市博多区博多駅前3-4-8 サットンホテル博多シティ内)

実施日・会議時間 2022年11月22日 (火) 13:30～17:00

- 実施内容**
1. 気候変動及び気候変動影響に関する基礎的な内容の講義
(国立環境研究所気候変動適応センター 向井人史センター長)
 2. グループワーク
 - ①身近で感じる気候変動や影響
 - ②気候変動影響の重大性、緊急性に基づく優先度
 - ③優先度が高い気候変動影響に対する適応策
 3. グループワークの成果発表

1 - 1 暑熱環境観測の実施概要（小学校での観測）

小学校内で気象情報（気温、湿度）を測定し、屋外と屋内の比較、気象庁提供の気温との比較、環境省提供の暑さ指数（WBGT）との関係について、また、熱中症のような症状の発生について調査しました。

観測場所 太宰府市立水城西小学校（太宰府市向佐野90番地）

観測地点 校庭 日当たりがよく地面は土。フェンスに設置。

教室 鉄筋コンクリート造りの2階建て。2階の南西端の教室。壁に設置。

日陰 体育館と教室の間の渡り廊下部分。地面はコンクリートで直射日光はあたらない。風通しはよい。

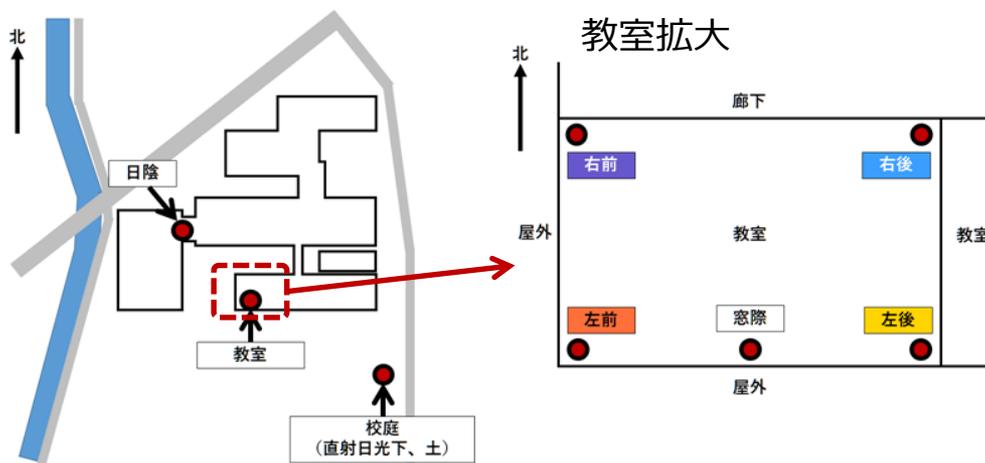
機器は地面から約150cmの高さに設置

観測項目 気温、湿度、WBGT

観測間隔 1時間ごと

解析期間 6月14日0時から10月11日24時

**機器設置
イメージ**



1 - 1 暑熱環境観測の実施概要（県内での観測）

県内における熱中症リスクを調査するため、県内5か所に観測機器を設置し観測しました。また、環境省が提供するWBGTや気象庁が提供する気温、湿度情報を入手し解析しました。

観測場所 豊前測定局（豊前市吉木955）
柳川測定局（柳川市三橋町今古賀8-1）
朝倉測定局（朝倉市杷木池田483-1）
篠栗測定局（篠栗町大字田中1-1）
古賀測定局（古賀市大字鹿部401-3）
上記大気常時監視測定局内への設置

観測項目 気温、湿度、WBGT

解析期間 8月19日0時から11月25日0時

使用機器 ソラテナ（株式会社ウェザーニューズ）

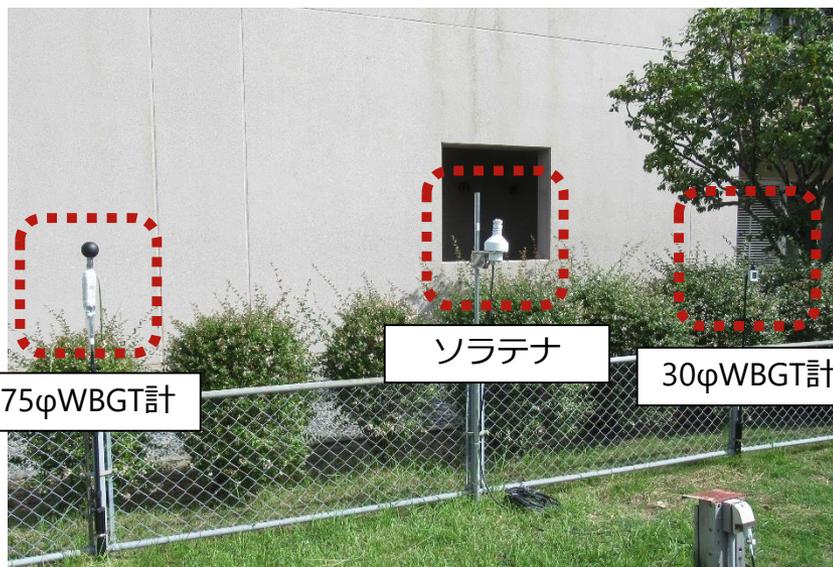
測定範囲 気温：-20～50℃/±1℃
湿度：0-100% /±5%
WBGT：独自の計算式により算出



1 - 1 暑熱環境観測の実施概要（機器間の比較）

福岡管区気象台に協力を得て、環境省観測地点近くで観測を行いました。

観測場所	福岡管区気象台（福岡市中央区大濠1丁目2-36）敷地内
観測項目	気温、湿度、WBGT 機器は地面から約150cmの高さに設置
解析期間	8月23日0時から9月27日24時 ※ 9月5日から9月8日及び9月16日から9月20日は台風のため観測停止。



収集した情報について専門家に意見を伺いました。

分野	専門家
気候変動	国立環境研究所気候変動適応センター 肱岡靖明副センター長 浅野絵美高度技能専門員
暑熱	国立環境研究所気候変動適応センター 岡和孝主幹研究員
気象	福岡管区気象台 地球環境・海洋課、予報課
農林業	福岡県農林業総合試験場
水産	福岡県水産海洋技術センター
自然環境	福岡県保健環境研究所環境生物課

1-2 暑熱環境観測の実施概要（農林業総合試験場での観測）

別紙⑥

農林業総合試験場で気象情報（気温、湿度、WBGT）を観測しました。

観測場所	福岡県農林業総合試験場（筑紫野市吉木58）	
観測地点	ビニルハウス	日当たりがよく地面は土。
	圃場	日当たりがよく地面は土。
	畜舎	畜舎内の直射日光のあたらない場所
	日陰	建物内の直射日光のあたらない場所
	機器は地面から約150cmの高さに設置	
観測項目	気温、湿度、WBGT	
観測間隔	1時間ごと	
解析期間	8月20日0時から10月6日23時	



2-2 将来予測情報サイトの構築

国立環境研究所気候変動適応センターからデータを提供いただき、将来予測GISサイトの構築を行いました。

画面イメージ

